



# 子

# ど

# も

# 理

# 解

# 編



このリーフレットでは、幼児（幼稚園）・子ども（保育所）・園児（幼保連携型認定こども園）などのすべてを総称して、「子ども」と表しています。

## 子ども理解（子どもを理解する）とは？

「子ども理解」とは、子どもとの関わりの中で、その姿や周囲の状況等を捉え、思いや考えを受けとめるとともに、一定期間に見られた育ちや一人ひとりの「その子らしさ」を理解しようとすることです。



子どもの良さや可能性を様々な角度から見ることで子どもを理解します！

## 一人ひとりの子どもを理解することが、教育・保育の出発点！

子どもには、一人ひとり、その子らしい見方、考え方、感じ方、関わり方があります。



その子らしさを損なわないようにしていくことが、“一人ひとりに応じる教育・保育”です。



読んでみよう！

### 『幼稚園教育要領解説』より

幼児期にふさわしい教育を行う際に必要なことは、一人一人の幼児に対する理解を深めることである。教師は幼児と生活を共にしながら、その幼児が今、何に興味をもっているのか、何を実現しようとしているのか、何を感じているのかなどを捉え続けていく必要がある。幼児が発達に必要な体験を得るための環境の構成や教師の関わり方も、**幼児を理解**することにより、適切なものとなる。



### 『保育所保育指針解説』より

子どもが何をしていたのかということやその結果のみでなく、どのようにして興味や関心もち、取り組んできたのか、その**過程を理解**することが保育をよりよいものとしていくうえで重要である。

### 『保育所における自己評価ガイドライン』より

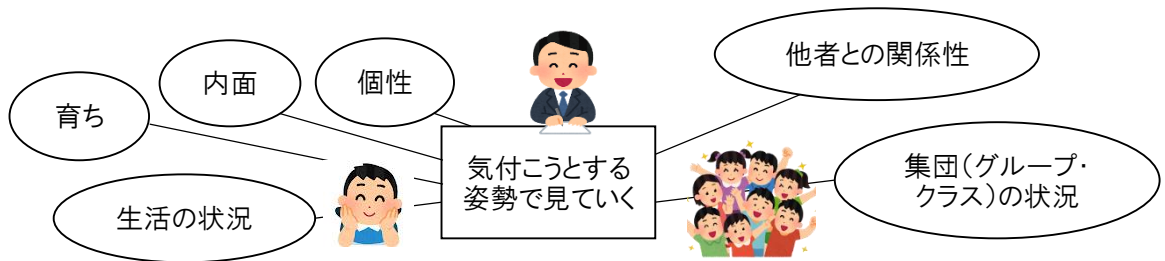
保育における**子どもの理解**に当たっては、乳幼児期の発達の道筋や特性を踏まえながら、一人一人あるいは集団としての子どもの観察や子どもとの対話を通じて、実態をもとにその心の動きや心身両面の育ちを捉えていくことが求められます。

### 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』より

乳幼児期にふさわしい教育及び保育を行う際に必要なことは、園児一人一人に対する理解を深めることである。保育教諭等は園児と生活を共にしながら、その園児が今、何に興味をもっているのか、何を実現しようとしているのか、何を感じているのかなどを捉え続けていく必要がある。園児が発達に必要な体験を得るための環境の構成や保育教諭等の関わり方も、**園児を理解**することにより、適切なものとなる。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のいずれにも、子ども理解について言及があります。

# 子どもを理解するためのポイント



(「保育所における自己評価ガイドライン」令和2年 厚生労働省を基に作成)

## 気を付けよう！子どもへの関わり方

一般的な発達の  
めやすからの優劣  
の捉え

子どもと子ども  
との比較

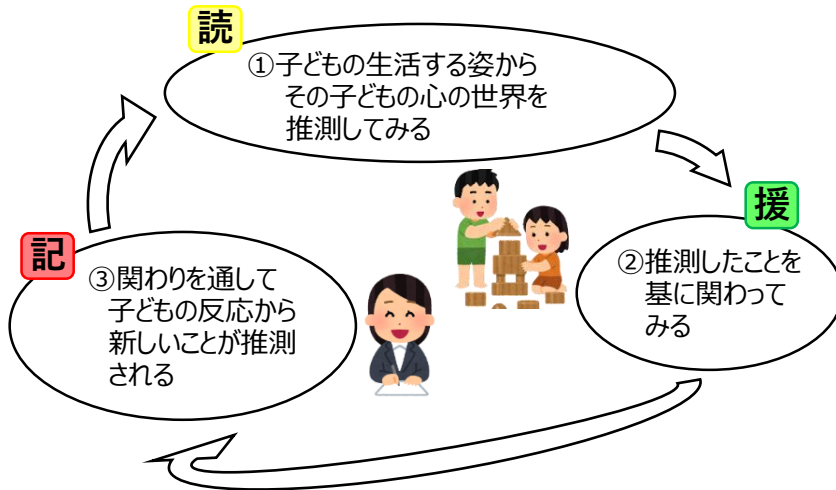
「この子はこうだ」と  
いった決めつけや  
思い込みによる解釈

- ・保育者の関わりによって、子どもの興味・関心の持ち方が方向付けられることがあります。
- ・保育者が何気なく使う言葉・態度がそのまま子どもの中に取り込まれることもあります。



日々の記録やエピソード等の中に、保育者の思いや動きも、具体的に記録することが大切です！

## 子どもを理解するためのサイクル



(「幼児理解に基づいた評価」平成31年 文部科学省を基に作成)

読

読み取る力

子どもと触れ合いながら、子どもの言動や表情から思いや考えなどを理解し受け止めることができる力

援

援助する力

子どもの姿が、保育者の関わり方の結果によることがあることを理解し、子どもの思いや成長に寄り添い、適切に子どもに関わる力

記録し、  
評価する力

子どもの姿の変容を捉えながら、記録等をもとに保育・教育をよりよいものに改善していく力

記

幼児教育に関わる教職員に求められる資質・能力  
(「幼児教育に関わる教職員の育成指標」  
令和4年 大阪府幼児教育センター 参考)

## コラム “子どもの心の世界”を感じ取る

A児が、友だちと園で遊んでいる絵を描いていました。空には太陽があり、横に月が並んでいました。そこを通りかかった保育者は、A児に「お昼に月はないんちゃう？」と言って、通り過ぎました。別の保育者が、「お日様とお月様、何かお話しするみたいね。」とA児に話しかけると、「うん。もう朝になってるから、『もう帰る』ってお日様がお月様に言ってるねん。」と返ってきました。そして、朝に園庭で遊んでいたときに、キラキラと輝く太陽とともに、月が見えていたことを話してくれました。A児には、そのことが心に強く残り、太陽と月と一緒に遊んでいて、朝になっているのに月が帰るのを忘れていたというイメージを膨らませていたのです。その思いをくみ取って話しかけたことから、A児の心の中にあつた素敵な世界の話聞くことができました。「月は夜に出るもの」と伝えることが大切なのか、A児の実体験からの表現に共感することが大切なのか。「お昼に月はない。」との思い込みの言葉は、A児からすると、保育者とのつながりが切れたように感じられたのではないのでしょうか。

子どもの気持ちになって感じ取ることは大切です。そして肯定的に見ることで、子どもとつながっていくことができるのです。「お日様とお月様、また一緒に遊ぶのかな？」と尋ねると、「うん。遊ぶよ！ だって友だちやもん。」と笑顔があふれていました。

子ども	状況	保育者
<p>劇遊びを楽しんでいる。</p> <p>「あっ！ 雪！」「雪や！」「雪降ってきた！」</p> <p>保育者の言葉かけに一旦は応じてその場にとどまるが、気持ちは外に向いている。</p> <p>「うわー！ 積もってきてる！」との一人の声をきっかけに、「えー？ どんなん？」「ほんまや！」「見たい見たい！」「私も！」他の子どもたちも気持ちは雪の方へ……。</p> <p>クラス全員が窓に張り付いて外の様子を見る。</p> <p>保育者の言葉かけを聞き、「わあ〜！」「やったー！」「雪や、雪や！」「みんな行こう！」戸外へとび出して行く。</p> <p>「そろそろ劇ごっこの続きやろう！」「そうしょっか！」「もうお部屋に入ろう！」</p>	<p>生活発表会まであと少し。室内で劇遊びに取り組む。</p> <p>窓から雪がちらつくのが見える。</p> <p>子どもの思いよりも活動を進めることに懸命になっている。</p> <p>子どもと保育者の気持ちにずれがある。</p> <p>子どもの興味・関心は、劇遊びではなく雪に移っている。</p> <p>保育者が「あとで行く」と言ったことから、子どもは外には出ないでいる。</p> <p>子どものこの行動の意味は……。“雪へと心が動いている状態”だと気付く。</p> <p>子どもたちの気持ちが満たされる。</p> <p>雪で辺り一面真っ白になる経験があまりないような地域では、雪が積もることは子どもにとって心動かされる出来事。</p> <p>今、子どもにとってどうなのか？“劇遊びは成り立たなかつただろう”と推測する。</p> <p>しばらくすると子どもの方から声が……。</p> <p>子どもたちは、雪遊びに満足し、気持ちが劇遊びに向く。</p> <p>自ら、続きの活動に取り組もうとする子どもの思いに気付く。</p> <p>保育者にとっては予想外だった子どもの心の動きを知る。</p>	<p>“今日はしっかり保育を進めない！”との思い。</p> <p>「劇ごっこが終わったらあとで外に行こう」と言って、劇遊びを先へ進めようとする。</p> <p>劇遊びの続きは、今のこの状況では無理だと察する。</p> <p>「雪、見に行こうか！」</p> <p>子どもの気持ちを考えず無理やり劇遊びを進めていたとしたら…と考えながら、子どもと一緒に思いきり雪で遊ぶ。</p> <p>子どもたちが自発的に劇遊びに取り組もうとした姿に驚いたとともにとても嬉しく感じた。</p> <p>子どもの気持ちを考えて関わることの大切さを学んだ。</p>



より良い保育のためのチェックポイント【子ども理解編】

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 子どもを肯定的に見ていますか        | <input type="checkbox"/> 保育者の関わりを通した、子どもの姿も捉えていますか  |
| <input type="checkbox"/> 子どもの行動・活動の意味を理解していますか | <input type="checkbox"/> 子どもの思いや成長に寄り添った関わりができていますか |
| <input type="checkbox"/> 子どもの発達の姿を捉えていますか      | <input type="checkbox"/> 子どものありのままの姿を記録していますか       |
| <input type="checkbox"/> 集団と個の関係を捉えていますか       | <input type="checkbox"/> 子どもの姿を保育者の関わりも含めて記録をしていますか |
| <input type="checkbox"/> 子どもの育ちや背景を捉えていますか     | <input type="checkbox"/> 記録をもとに、関わり方や保育の見直しをしていますか  |

## 子ども理解をより深めるには？

他の保育者と  
子どもの姿を語り合う

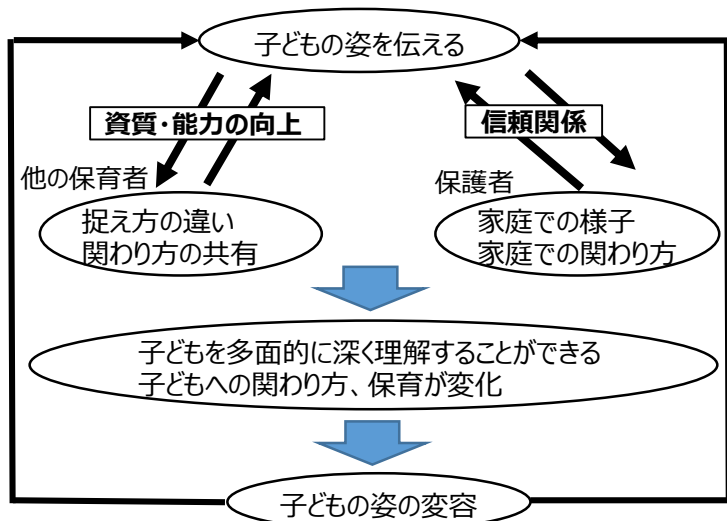
日常的な会話等で、他の保育者と子どもの姿を語り合うことで、自分自身が気付いていなかったその子らしさに気付くこともあります。

保護者に  
子どもの良いところを伝える

園所での子どもの様子で、特に良いところ（新たに発見したこと、がんばっていたこと）を伝えられた保護者は、うれしいものです。保護者も家庭での子どもの様子を伝えたいくなります。

このように日常的に保護者と信頼関係を築いていくことで、子どもの家庭での様子を知ることにつながります。

他者との連携・共有



乳幼児期に育みたい！ 未来に向かう力

<https://www.pref.osaka.lg.jp/chikikoiku/kateikyoiukusien/mirainimukautikara.html>

不登校生徒への理解と支援 子どもにつながる保護者支援  
(事例編) (理解編)

[https://www.osaka-c.ed.jp/category/forteacher/teachers\\_1.html](https://www.osaka-c.ed.jp/category/forteacher/teachers_1.html)

## 冊子紹介

### 参考資料

幼稚園教育要領解説（平成30年） 文部科学省

保育所保育指針解説（平成30年） 厚生労働省

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年）

内閣府 文部科学省 厚生労働省

保育所における自己評価ガイドライン（令和2年） 厚生労働省

保育所における自己評価ガイドライン ハンドブック（令和2年）

厚生労働省

幼児理解に基づいた評価（平成31年） 文部科学省

こんな経験ありませんか？

## 『先生は一生懸命！』



大阪府教育センターの  
カリナビが利用できます！

### カリキュラムNAViプラザ（カリナビ）

幼稚園新規採用教員研修・幼稚園10年経験者研修の園内研修の指導案を置いています。制作・リズム遊び・楽器遊び・運動会に向けて等、様々な活動内容のものが見られます。

### 大阪府幼児教育センター

〒558-0011

大阪市住吉区苅田4丁目13番23号  
(大阪府教育センター内)

TEL 06-6692-1882 (代表)

FAX 06-6692-1923

URL <https://www.osaka-c.ed.jp/oyk-c/>